

心に熱がある。

早く獨りほつりんと雨垂れのやうに、涙も汗もない生活を送りたいものだ。

汽車の窓から覗くと、俺が雲の上を走つてる姿が見える。

朝鮮の老若男女が三等車に充滿して、いぎたない匂ひを、糞の煙りにまぜて吐き出してゐた。

俺は一尺四五寸の鴈首の太い煙管を啣へたシヨボ髯の朝鮮人に、賣つて呉れないかと言つた。

其の朝鮮人は日本語が好く解らんらしく、目をシヨボく／＼させてゐると筋向ひに掛けてゐたのが、

「四十錢だ」と言つた。敷島の吸ひ残りもやつて四十錢を渡した。

俺は其の煙管を、虎の毛のオーバーの一番上の釦の穴にさした。

バスケットの中の糞入れに、キサミを詰め込まなければならぬ。

直線は新らしくて、清潔は古い。

やれこら山陽道。

お茶も牛乳も速力に於て、俺の喉を不快にはしない。